

認知症に関する活動計画（概要）

高知県作業療法士会では、2017年度より認知症の人に対応できる人材育成と作業療法士の地域参画を目的に、地域連携部認知症班として活動を行なっている。

新型コロナウイルス感染対策を講じながら認知症の人への対応力の基礎作りとして、アップデート研修の実施を行っている。地域事業では昨年度までに県内の認知症カフェの情報収集を行い、今年度より班員が運営に携わり認知症カフェを開催している。今後も感染状況に応じて、地域活動での人材育成と介護予防事業に作業療法士を派遣することを視野に入れ活動を進めていく。

認知症カフェへの参画

2021年6月より偶数月に開催している。認知症の人に携わる方を支援する目的で開始。1回目は支援する方の情報交換会、2回目は認知症に見られる症状と対応方法をテーマに実施。テーマに限らずその場で話題に上がった内容に応じて情報交換や助言を行っている。認知症カフェのロゴを作成し活動のPRとしている。今年度は全5回を予定している。



アップデート研修の実施

期 日：2020年2月13日（土）

場 所：高知県作業療法士会事務局 WEB研修会

参加者：23人

2021年度は2022年2月に開催予定。



COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、班会や研修会はリモート形式で開催。2021年度も班会はWEB会議を実施しつつ、研修会に関しては昨年度のWEB研修会の利点と欠点の振り返り、県下の感染状況に応じて形式を決めていく。

認知症予防事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により地域で認知症事例が増えていると感じているが、活動を共にする各団体との協業が停滞している。以前には、介護予防に関する団体と協業する企画もあった事から、withコロナ、afterコロナの視点を持ち予防的な関わりを持てるよう模索していく。